

2016年度第1四半期（2016年1月～3月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 わ せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-6889-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2016年4月26日（火曜日）

2. 業 績

	第1四半期（1月～3月の3ヶ月間）			累計額（1月～3月の3ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,451	百万ドル 5,226	% 4.3	百万ドル 5,451	百万ドル 5,226	% 4.3
税引前当期純利益	百万ドル 1,117	百万ドル 1,013	% 10.4	百万ドル 1,117	百万ドル 1,013	% 10.4
当期純利益	百万ドル 731	百万ドル 663	% 10.2	百万ドル 731	百万ドル 663	% 10.2
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.75	ドル 1.52	% 15.1	ドル 1.75	ドル 1.52	% 15.1
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.74	ドル 1.51	% 15.2	ドル 1.74	ドル 1.51	% 15.2

配当金の推移		
	当年度（2016年度）	前年度（2015年度）
第1四半期	0.41 ドル	0.39 ドル
第2四半期		0.39
第3四半期		0.39
第4四半期		0.41
合計	0.41 ドル	1.58 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート室
堀江純一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は2016年度第1四半期の業績を発表
2016年度の1株当たり事業利益及び販売の見通しを確認
2016年度第2四半期現金配当を宣言

ジョージア州、コロンバス - 2016年4月26日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2016年度第1四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円高ドル安の恩恵を受け、前年同期の52億ドルから4.3%増加し、55億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の6億6,300万ドル(希薄化後1株当たり1.51ドル)から7億3,100万ドル(同1.74ドル)となりました。

有価証券取引及び減損による税引後資産運用実現損益については、前年同期の当期純利益には4,000万ドル(実現損とのネット。希薄化後1株当たり0.10ドル)の実現益が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、5,000万ドル(実現損とのネット。希薄化後1株当たり0.12ドル)の実現益が含まれていました。当四半期の資産運用実現益(実現損とのネット)には、税引後減損損失1,000万ドル(希薄化後1株当たり0.02ドル)が含まれていました。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで2,900万ドル(希薄化後1株当たり0.07ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実

現益(実現損とのネット)は1,200万ドル(希薄化後1株当たり0.03ドル)でした。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損益からの2,800万ドル(希薄化後1株当たり0.07ドル)の税引後損失が含まれていました。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクを管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金、再々保険取引の決済及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価すべきであると考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すため

に掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の 119.16 円から 3.3%円高ドル安の 115.35 円となりました。当四半期の事業利益は、前年同期の 6 億 7,800 万ドルから、7 億 2,600 万ドルとなりました。当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は、前年同期に比べて 12.3%増加し、1.73 ドルとなりました。当四半期の事業利益には、退職適格従業員についての株式報酬費用の早期認識分として、税引後で 800 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.02 ドル)の調整が含まれていました。為替レートが円高ドル安に推移したことで、当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は、0.03 ドル増加しました。円高ドル安の影響を除いた希薄化後 1 株当たり事業利益は、10.4%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2015 年 12 月 31 日現在の 1,059 億ドルから 2016 年 3 月 31 日現在では 1,143 億ドルとなりました。

当四半期、当社は 6 億ドル相当(1,020 万株)の自己株式を取得しました。2016 年 3 月 31 日現在、当社の自己株式取得承認枠は、3,820 万株となっています。

株主持分は、2015 年 12 月 31 日現在が 177 億ドル(1 株当たり 41.73 ドル)であったのに対し、2016 年 3 月 31 日現在では 200 億ドル(1 株当たり 48.22 ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2015 年 12 月 31 日現在が 30 億ドルであったのに対して、2016 年 3 月 31 日現在では 47 億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で 15.5%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で 19.3%(円高の影響を除くと 18.5%)でした。

日本社

当四半期、円ベースで見ると、保険料収入は 0.1%増加しました。投資収益(ネット)

は 1.7%減少しました。当四半期の日本社の投資収益は、前年同期とほぼ同じく、その約 48%がドル建てであったことから、この投資収益の減少は、主として円高ドル安の影響によるものです。当四半期の日本社の収益合計は、前年同期比 0.2%減少しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の 22.1%から 22.0%へとわずかに低下しました。円ベースの税引前事業利益は、報告ベースでは 0.8%減少しましたが、為替変動の影響を除けば、0.2%の増加でした。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、円高ドル安の影響により、押し上げられました。当四半期の保険料収入は 3.3%増加し、32 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 1.4%増加し 6 億 2,200 万ドルとなりました。収益合計は 3.0%増加し、38 億ドルに、税引前事業利益は 2.4%増加し 8 億 3,800 万ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は 15.5%増の 312 億円(2 億 7,100 万ドル)となりました。当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、1.0%増加し、183 億円(1 億 5,860 万ドル)となりました。当四半期の WAYS と学資保険を含む第一分野商品の販売は、45.0%増加し、129 億円(1 億 1,230 万ドル)となりました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は 2.1%増加し、14 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 5.1%増加して 1 億 7,400 万ドルとなりました。収益合計は 2.3%増の 15 億ドルとなりました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の 18.9%から 21.5%に上昇しました。税引前事業利益は、前年同期比 16.6%増の 3 億 3,200 万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料合計は 3.7%増加し、3 億 2,800 万ドルとなりました。また、当四半期の継続率は、前年同期の 76.7%から 76.6%となりました。

現金配当

取締役会は、2016年度第2四半期支払いの四半期現金配当を1株当たり0.41ドルとすることを発表しました。この現金配当は、2016年5月18日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2016年6月1日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期の当社の財務業績全般については、喜ばしく思っています。当社の最大の利益貢献部門である日本社は、当四半期、円ベースで堅調な財務業績を挙げました。当四半期の第一分野商品の販売は増加しましたが、これは当社の予想に沿ったものでした。当社は第2四半期の後半、さらに様々な施策を実行に移しますが、これにより、本年度下半期の第一分野商品の販売は、大幅に減少するものと予想しています。日本社の第三分野商品の販売は、当四半期1.0%増加しましたが、2月に申し上げましたように、2015年度の非常に強い販売実績を受け、2016年度通年では、一桁台半ばの減少率を予想しています。まだ年度の初期段階ではありますが、第1四半期終了の時点では、第三分野商品の販売は予想を上回るものとなっています。引き続き当社は、第三分野商品販売の長期の複利成長年率は4%から6%の間となるものと確信しています。」

「当四半期、財務業績及び販売において、米国社は堅調な実績を挙げました。専属募集人及びブローカー向けに当社が実行した経営インフラの改編が、今後のより大きな長期的な成長機会の礎となっているものと、引き続き当社は確信しています。当四半期の販売成長率が3.7%となったことで、米国社の2016年度通年の販売成長率の目標である3%-5%増へのひとつの基準値を固めることとなりました。ここで、米国社の通年の販売目標の達成に向けて、当社は第4四半期の販売により多くを依存していることを思い起こしていただきたいと思います。」

「引き続き当社は、ご契約者及び社債保有者のために高い自己資本比率を維持する

ことにコミットしています。資本水準が安定し続けるという前提で、日本社の強力な財務力が、2016年暦年の米国に対する利益送金を1,200億円から1,500億円の範囲で実行ならしめるものと、当社は確信しています。このことは、上半期に前倒しで実行を予定している、2016年度における14億ドル相当の自己株式取得計画を強化するものです。」

「当社の年度目標は、2015年度の平均為替レートである1ドル120.99円の前提の下で、6.17ドルから6.41ドルの希薄化後1株当たり事業利益を計上することであることを、ここに重ねて申し上げます。仮に第2四半期の期中平均円／ドル為替レートが1ドル105円から115円で推移した場合、第2四半期の希薄化後1株当たり利益は約1.55ドルから1.82ドルの間になるものと当社は予想しています。ここで思い起こしていただきたいのは、著しく低い金利水準と市場変動の再上昇の中で、慎重なリスク許容度を保ちつつ、キャッシュ・フローを魅力的な利回りで運用することは困難であるということです。また、通常、第1四半期の保険金給付金比率が他の四半期に比べてより有利であることを勘案すると、2016年度は、日米ともに引き続き保険金給付金比率が強いものになるものと予想しています。世界で最も優れた二つの保険市場において、当社は良いポジションにあり、ご契約者に対する約束を着実に果たしつつ、1株当たり利益目標達成のため、当社は懸命に努力を重ねています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60年にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売No.1の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、有効な給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを1営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入しています。当社の個人保険及び団体保険は、世界で5,000万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は10年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の1社に選出しています。また、2016年、『フォーチ

『フォーチュン』誌は、当社を 18 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、15 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野のイノベーション部門において 2 年連続で第 1 位にランクしました。2015 年、アフラックのコンタクトセンターは、その電話対応チャネルにおいて、J.D. パワー社から「サービスに対する際立った顧客体験」の認定を受けました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement) は、aflac.com 「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の様子を 2016 年 4 月 27 日 (水曜日) 午前 9 時 00 分 (米国東部夏時間) に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2016年	2015年	増減率
収益合計	5,451	5,226	4.3%
保険金給付金	3,025	2,952	2.5%
新契約費及び事業費合計	1,309	1,261	3.7%
税引前当期純利益	1,117	1,013	10.4%
法人税等	386	350	
当期純利益	731	663	10.2%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.75	1.52	15.1%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.74	1.51	15.2%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	418,748	437,306	-4.2%
希薄化後	420,920	439,927	-4.3%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.41	0.39	5.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

3月31日現在:

	2016年	2015年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	114,320	108,711	5.2%
繰延新契約費	8,929	8,319	7.3%
その他の資産	4,517	4,325	4.4%
資産合計	127,766	121,355	5.3%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	94,128	85,564	10.0%
社債等	4,984	6,236	-20.1%
その他の負債	8,633	10,918	-20.9%
株主持分	20,021	18,637	7.4%
負債および株主持分合計	127,766	121,355	5.3%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	415,203	433,771	-4.3%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

3月31日に終了した3ヶ月間:

	2016年	2015年	増減率
事業利益	726	678	7.1%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	50	40	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-29	-9	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	12	-34	
その他及び非経常的(損)益	-28	-12	
当期純利益	731	663	10.2%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.73	1.54	12.3%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.12	0.10	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.07	-0.02	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.03	-0.08	
その他及び非経常的(損)益	-0.07	-0.03	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.74	1.51	15.2%

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2016年3月31日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	3.8%	1.6%
投資収益(ネット)	2.4%	1.1%
保険金給付金および事業費合計	2.3%	0.1%
事業利益	7.1%	5.2%
希薄化後1株当たり事業利益	12.3%	10.4%

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートをを用いて算出した。

2016年度1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2015年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
105	\$6.66 - \$6.90	8.1% - 12.0%	\$ 0.49
110	\$6.49 - \$6.73	5.4% - 9.3%	\$ 0.32
115	\$6.34 - \$6.58	2.9% - 6.8%	\$ 0.17
120.99*	\$6.17 - \$6.41	0.2% - 4.1%	\$ -
125	\$6.07 - \$6.31	-1.5% - 2.4%	\$ -0.10

*実際の2015年度の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- 世界資本市場及び経済の困難な状況
- 金融市場の安定化を目指す政府の行動
- 当社の投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- 重要な金利リスクに対するエクスポージャー

- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・ 患者の個人情報及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 円/ドル為替相場の変動
- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・ 情報システムの改善・開発を継続する能力
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ その他の金融機関の信用力の低下
- ・ 優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・ アフラック保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・ 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 年金及びその他退職給付プランに係る前提の変更による費用の増加と収益性の低下
- ・ 保険業界における継続的な変化
- ・ 当社の事業を離れた出来事によってもたらされる消費者からの信頼の喪失
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces First Quarter Results,
Affirms 2016 Operating EPS and Sales Outlook,
Declares Second Quarter Cash Dividend**

COLUMBUS, Ga. – April 26, 2016 – Aflac Incorporated today reported its first quarter results.

Benefiting from the stronger yen/dollar exchange rate, total revenues rose 4.3% to \$5.5 billion during the first quarter of 2016, compared with \$5.2 billion in the first quarter of 2015. Net earnings were \$731 million, or \$1.74 per diluted share, compared with \$663 million, or \$1.51 per share, a year ago.

Net earnings in the first quarter of 2016 included \$50 million, or \$.12 per diluted share, of after-tax net realized investment gains from securities transactions and impairments, compared with net after-tax gains of \$40 million, or \$.10 per diluted share, a year ago. Included in the net investment gains in the quarter are after-tax impairment losses of \$10 million, or \$.02 per diluted share. Hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan on an after-tax basis were \$29 million in the quarter, or \$.07 per diluted share. Realized after-tax net investment gains from other derivative and hedging activities in the quarter were \$12 million, or \$.03 per diluted share. In addition, net earnings included a loss of \$28 million, or \$.07 per diluted share, from other and nonrecurring items.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations, inclusive of interest cash flows associated with notes payable, but before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items. Aflac's derivative activities are primarily used to hedge foreign exchange and interest rate risk in the company's investment portfolio as well as manage foreign exchange risk in certain notes payable and forecasted cash flows denominated in yen. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for certain transactions such as profit repatriation, settlements of reinsurance retrocessions, and the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency translation as a financial reporting issue rather than an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

The average yen/dollar exchange rate in the first quarter of 2016 was 115.35, or 3.3% stronger than the average rate of 119.16 in the first quarter of 2015. Operating earnings in the first quarter were \$726 million, compared with \$678 million in the first quarter of 2015. Operating earnings per diluted share in the quarter increased by 12.3% from a year ago to \$1.73. Included in first quarter operating earnings is an adjustment of \$8 million after-tax, or \$.02 per diluted share, accelerating the recognition of stock compensation expense associated with retirement-eligible employees. The stronger yen/dollar exchange

rate increased operating earnings per diluted share by \$.03 for the first quarter. Excluding the impact from the stronger yen, operating earnings per diluted share increased 10.4%.

Total investments and cash at the end of March 2016 were \$114.3 billion, compared with \$105.9 billion at December 31, 2015.

In the first quarter, Aflac repurchased \$600 million, or 10.2 million of its common shares. At the end of March, the company had 38.2 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$20.0 billion, or \$48.22 per share, at March 31, 2016, compared with \$17.7 billion, or \$41.73 per share, at December 31, 2015. Shareholders' equity at the end of the first quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$4.7 billion, compared with a net unrealized gain of \$3.0 billion at the end of December 2015. The annualized return on average shareholders' equity in the first quarter was 15.5%. On an operating basis (excluding net realized investment gains/losses in net earnings as well as unrealized investment gains/losses and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 19.3% for the first quarter of 2016, or 18.5%, excluding the impact of the yen.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income rose .1% in the first quarter. Net investment income was down 1.7%. The decline in investment income was largely attributable to the stronger yen/dollar exchange rate because approximately 48% of Aflac Japan's investment income was dollar-denominated, which was consistent with a year ago. Total revenues were down .2% in the quarter. The pretax operating profit margin fell slightly in the quarter to 22.0% from 22.1% in the prior year. Pretax operating earnings in yen decreased .8% on a reported basis and increased .2% on a currency-neutral basis.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the quarter were magnified as a result of the stronger yen/dollar exchange rate. Premium income increased 3.3% to \$3.2 billion in the quarter. Net investment income was up 1.4% to \$622 million. Total revenues increased 3.0% to \$3.8 billion. Pretax operating earnings increased 2.4% to \$838 million.

In the first quarter, total new annualized premium sales rose 15.5% to ¥31.2 billion, or \$271 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, increased 1.0% to ¥18.3 billion, or \$158.6 million. First sector sales, which include WAYS and child endowment, increased 45.0% to ¥12.9 billion, or \$112.3 million.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 2.1% to \$1.4 billion in the first quarter. Net investment income was up 5.1% to \$174 million. Total revenues increased 2.3% to \$1.5 billion. The pretax operating profit margin rose to 21.5%, compared with 18.9% a year ago. Pretax operating earnings were \$332 million, an increase of 16.6% for the quarter.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 3.7% in the quarter to \$328 million. Additionally, persistency in the quarter was 76.6%, compared with 76.7% a year ago.

DIVIDEND

The board of directors declared the second quarter cash dividend. The second quarter dividend of \$.41 per share is payable on June 1, 2016, to shareholders of record at the close of business on May 18, 2016.

OUTLOOK

Commenting on the company's first quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are pleased with our overall financial results in the first quarter of 2016. Aflac Japan, our largest earnings contributor, generated solid financial results in yen terms for the quarter. Sales of first sector products were elevated in the quarter, consistent with our expectations. As we further implement various measures later in the quarter, we expect to see a sharp decline in first sector sales in the second half of the year. Although sales of Aflac Japan's third sector products were up 1.0% in the quarter, you'll

recall we communicated in February that we anticipate sales of third sector products will be down mid-single digits for the full year following very robust production results in 2015. While it's early in the year, we are running ahead of expectations for sales of third sector products as of the end of the first quarter. We continue to believe the long-term compound annual growth rate for third sector products will be in the range of 4% to 6%.

"In the first quarter, Aflac U.S. produced solid financial and sales results. We continue to believe that the changes we made to our career and broker management infrastructure have created a foundation for greater long-term growth opportunities. The increase in new annualized premium sales of 3.7% establishes a solid baseline for our expectation of a 3% to 5% growth rate for the U.S. in 2016. Keep in mind, we anticipate the achievement of our annual U.S. sales target will be increasingly reliant on fourth quarter production.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders and bondholders. Provided capital conditions remain stable, we believe our financial strength in Japan positions us to repatriate in the range of ¥120 to ¥150 billion to the U.S. for the calendar year 2016. This reinforces our plan to repurchase about \$1.4 billion of our shares in 2016, with the majority concentrated in the first half of the year.

"I want to reiterate that our annual objective is to produce operating earnings per diluted share of \$6.17 to \$6.41, assuming the 2015 average exchange rate of 120.99 yen to the dollar. If the yen averages ¥105 to ¥115 to the dollar for the second quarter, we would expect earnings in the second quarter to be approximately \$1.55 to \$1.82 per diluted share. I would remind you that with interest rates at significantly depressed levels and a return to market volatility, it is difficult to invest cash flows at attractive yields while maintaining a prudent risk tolerance. Additionally, we expect 2016 benefit ratios will continue to be strong in both the U.S. and Japan, recognizing that the first quarter is typically more favorable than the rest of the year. We are well-positioned in the two best insurance markets in the world and are working very hard to achieve our earnings-per-share objective while also ensuring we deliver on our promise to policyholders."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leading provider of voluntary insurance at the worksite. Through its trailblazing One Day PaySM initiative, Aflac U.S. can receive, process, approve and disburse payment for eligible claims in one business day. In Japan, Aflac is the leading provider of medical and cancer insurance and insures one in four households. Aflac individual and group insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For 10 consecutive years, Aflac has been recognized by *Ethisphere* as one of the World's Most Ethical Companies. In 2016, *Fortune* magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 18th consecutive year and included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 15th time, ranking the company No. 1 in innovation for the insurance, life and health category for the second consecutive year. In 2015, Aflac's contact centers were recognized by J.D. Power by providing "An Outstanding Customer Service Experience" for the Live Phone Channel. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac and One Day PaySM, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Wednesday, April 27, 2016.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,451	\$ 5,226	4.3%
Benefits and claims	3,025	2,952	2.5
Total acquisition and operating expenses	1,309	1,261	3.7
Earnings before income taxes	1,117	1,013	10.4
Income taxes	386	350	
Net earnings	\$ 731	\$ 663	10.2%
Net earnings per share – basic	\$ 1.75	\$ 1.52	15.1%
Net earnings per share – diluted	1.74	1.51	15.2
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	418,748	437,306	(4.2)%
Diluted	420,920	439,927	(4.3)
Dividends paid per share	\$.41	\$.39	5.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

MARCH 31,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$114,320	\$ 108,711	5.2%
Deferred policy acquisition costs	8,929	8,319	7.3
Other assets	4,517	4,325	4.4
Total assets	\$127,766	\$ 121,355	5.3%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 94,128	\$ 85,564	10.0%
Notes payable	4,984	6,236	(20.1)
Other liabilities	8,633	10,918	(20.9)
Shareholders' equity	20,021	18,637	7.4
Total liabilities and shareholders' equity	\$127,766	\$ 121,355	5.3%
Shares outstanding at end of period (000)	415,203	433,771	(4.3)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31,	<u>2016</u>	<u>2015</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 726	\$ 678	7.1%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	50	40	
Hedge costs related to foreign currency investments	(29)	(9)	
Impact of other derivative/hedging activities	12	(34)	
Other and non-recurring income (loss)	(28)	(12)	
Net earnings	\$ 731	\$ 663	10.2%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.73	\$ 1.54	12.3%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.12	.10	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.07)	(.02)	
Impact of other derivative/hedging activities	.03	(.08)	
Other and non-recurring income (loss)	(.07)	(.03)	
Net earnings per diluted share	\$ 1.74	\$ 1.51	15.2%

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED MARCH 31, 2016	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	3.8%	1.6%
Net investment income	2.4	1.1
Total benefits and expenses	2.3	.1
Operating earnings	7.1	5.2
Operating earnings per diluted share	12.3	10.4

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2016 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2015</u>	<u>Yen Impact</u>
105	\$ 6.66 - 6.90	8.1 - 12.0%	\$.49
110	6.49 - 6.73	5.4 - 9.3	.32
115	6.34 - 6.58	2.9 - 6.8	.17
120.99*	6.17 - 6.41	.2 - 4.1	-
125	6.07 - 6.31	(1.5) - 2.4	(.10)

*Actual 2015 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; exposure to significant interest rate risk; concentration of business in Japan; limited availability of acceptable yen-denominated investments; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; foreign currency fluctuations in the yen/dollar exchange rate; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; decline in creditworthiness of other financial institutions; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; decreases in our financial strength or debt ratings; inherent limitations to risk management policies and procedures; extensive regulation and changes in law or regulation by governmental authorities; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; ability to effectively manage key executive succession; level and outcome of litigation; increased expenses and reduced profitability resulting from changes in assumptions for pension and other postretirement benefit plans; ongoing changes in our industry; loss of consumer trust resulting from events external to our operations; failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com
Media contact – Catherine Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com